

第61期 中間報告書

2019.4.1-2019.9.30

CONTENTS

企業理念	1p
トップインタビュー	2p
製品品質・サービス品質を追求し、お客様に選ばれる新コスモス電機グループを目指します。	
事業・商品紹介と商品別営業の概況(連結)	5p
連結財務諸表	7p
個別財務諸表	9p
新商品紹介	10p
株式の状況	11p
ネットワーク	12p
会社概要	13p
株主メモ	14p



新コスモス電機
グループの使命

「私たちは、センシング技術とサービスで、
世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦します」

新コスモス電機株式会社の企業理念

経営理念
-コスモス スピリット-

1. コスモスは、未来を自らの手で創る人々の集団である。
2. コスモスは、現状に満足することなく、常に未知の可能性に挑戦する創造と向上の精神を尊重する。
3. コスモスは、関係する全ての人々の利益を尊重し、全員の衆智によって経営される。
4. コスモスは、社員に自己の適性に応じた価値ある仕事と成長していく実践の場を与える。
5. コスモスは、常に価値ある商品を生み出し社会生活の向上に貢献する。

コスモスの
使命

「コスモスはセンサテクノロジーで、
安全・安心・快適な環境創りに貢献する」

社是

「自主・自力・創造・執念・感謝」

製品品質・サービス品質を追求し、 お客様に選ばれる新コスモス電機 グループを目指します。



代表取締役社長
高橋 良典



昨年引き続き自然災害が相次ぎ、
大きな被害が発生しました。

台風15号、19号で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。当社グループとしても復興に向けできる限りの支援をさせていただきたいと思っております。



現在の事業環境を
どのように認識されていますか。

マクロの経済環境における雇用や所得については改善傾向にあり、個人消費も持ち直しの動きが見られ設備投資も緩やかながら増加していますが、消費税率の引き上げによる影響など不透明な面もあります。一方輸出については通商問題の動向が世界経済に与える影響や中国経済の先行きなど不透明な状況が続いているものの、海外の景気の緩やかな回復傾向を受け改善していくことが期待されています。

当社グループを取り巻く環境に目を向けると、2017年4月から都市ガスの小売自由化がスタートし、電力自由化と合わせてエネルギー業界の変革が始まりました。エネルギー間の競争は激しさを増しており、当社グループにおいては主力商品のひとつである家庭用ガス警報器関連での競争に勝ち抜くため、商品の差別化、コスト競争力の強化、生産性の向上等が求められています。

このような環境の中、当社グループは、「センシング技術とサービスで、世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦します」という使命のもと、お客様の視点に立った商品開発を行ない、お客様に新たな価値を提案でき

トップインタビュー

るよう取り組んでいます。

Q この上半期の業績はいかがでしたか。

売上高は前年同四半期に比べ1.8%減の135億6千1百万円、利益につきましては経常利益が同28.1%減の10億7千4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が同24.9%減の6億3千7百万円となり、減収減益の結果となりました。減収については国内における家庭用の都市ガス用警報器の販売が伸び悩んだこと、減益についてはグループ会社の社屋移転など販売管理費の増加や、為替変動による影響などが要因です。

Q 通期の見通しについてお聞かせください。

当社グループを取り巻く環境の先行きを見てみると、先に述べたように国内、海外いずれも経済環境の先行きは不透明な状況が続いていますが、安全・安心への意

識の高まりや、環境に対する取り組みの強化といった社会的ニーズは高まっています。

このような環境の中、当社グループは、お客様のニーズにあった新商品の開発や営業活動の強化、生産性向上による経営の効率化などに取り組み、業績の向上に努めてまいります。

通期の連結売上高は285億2千8百万円、経常利益は29億1千4百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は17億6千7百万円と、期初に発表いたしました当初計画通りと予想しています。

Q 「中期経営計画2019-2021」の発表がありました。

前中期経営計画は売上、利益とも達成して終わることができました。今回策定した中期経営計画では「お客様が求める製品品質・サービス品質を追求し、お客様に選ばれた新コスモス電機グループを目指す」を定性目標として、「最終年度には売上高318億円以上、海外売上高

連結財務ハイライト

■ 第2四半期 ■ 通期

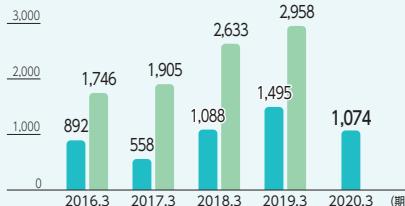
▶ 売上高

(単位:百万円)



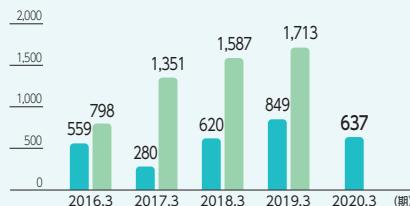
▶ 経常利益

(単位:百万円)



▶ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



比率35%以上、営業利益率は安定的に10%以上を確保する」を定量目標に掲げ、当社グループのコアコンピタンスである「ガスセンサ・ガスセンシング技術」を軸に、成長戦略、基盤戦略に取り組んでいきます。

成長戦略

- ・グローバル展開の推進
- ・センシング技術の強化
- ・新事業・新技術への取り組み
- ・サービスの向上

基盤戦略

- ・グループ経営の推進
- ・収益性の向上
- ・品質の向上
- ・人材育成
- ・ガバナンス経営の推進

【中期経営計画2019-2021 セグメント別売上計画と成長戦略・基盤戦略】 (百万円)

	2019年度 (初年度)	2021年度 (最終年度)
家庭用ガス警報器関連	13,280	14,702
工業用定置式ガス検知警報器関連	7,606	8,300
業務用携帯型ガス検知器関連	5,490	5,958
その他	2,151	2,887
合計	28,528	31,847
営業利益 ※カッコ内は営業利益率	2,765 (9.7%)	3,857 (12.1%)
ROE	5.9%	7.5%



最後に株主の皆さまへ メッセージをお願いします。

「中期経営計画2019-2021」を達成するためにも、まず今年度の事業計画を達成しなければなりません。上半期は厳しい結果となりましたが、通期においては計画を達成できるようグループ一丸となって事業に取り組んでまいります。

グループの飛躍のため挑戦を続け、事業に邁進したいと考えておりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後も当社グループへの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

▶ 一株当たり四半期(当期)純利益

(単位:円)



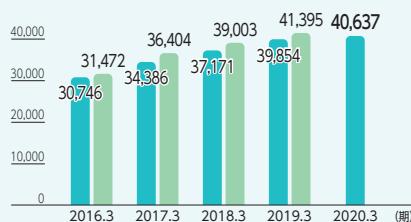
▶ 純資産

(単位:百万円)



▶ 総資産

(単位:百万円)



事業・商品紹介と商品別営業の概況(連結)

家庭用ガス警報器関連

売上高 **63億2千5百万円** 前年同四半期比 **5.5%** 

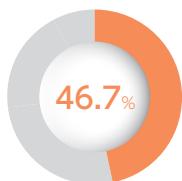
事業・商品

ご家庭の台所での万が一のガス漏れ、不完全燃焼を見張るガス警報器。寝室などで煙を感知してお知らせする火災警報器。大切な家族の命や財産を守り、毎日の暮らしに安心をお届けするため、商品のラインナップを充実させてまいります。

営業の概況

LPガス用警報器の販売が好調に推移したものの、国内における都市ガス用警報器の販売が伸び悩み、売上高は63億2千5百万円(前年同四半期比5.5%減)となりました。

売上高構成比



売上高の推移



電池式 都市ガス用
住宅用火災・ガス・CO警報器



快適環境おしらせ
LPガス用ガス・CO警報器



快適環境おしらせ
住宅用火災・CO警報器

工業用定置式ガス検知警報器関連

売上高 **35億8千4百万円** 前年同四半期比 **0.2%** 

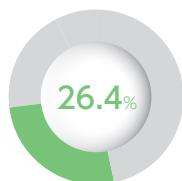
事業・商品

ガス貯蔵施設、石油化学工場、半導体製造工場、水素ステーションなどでは、ガスの安全管理が不可欠です。お客さまのニーズにお応えするため、ガス検知警報器一体型から数千点のガス検知部を持つ大型システムまで、現場に応じた最適なシステムを提案・提供しています。

営業の概況

半導体業界向けガス検知警報器の販売が好調に推移し、売上高は35億8千4百万円(前年同四半期比0.2%増)となりました。

売上高構成比



売上高の推移



無線ガス検知部



ガス検知警報器

業務用携帯型ガス検知器関連

売上高 26億7百万円

前年同四半期比

3.9%



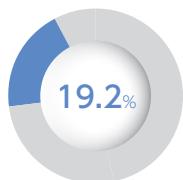
事業・商品

ガス配管からのガス漏れチェック、工事現場でのガス漏れ検知、酸欠・中毒事故防止のために使用される携帯用ガス検知器。作業者の皆さまが使いやすいように小型化・軽量化を目指して開発しています。また、センサユニット交換式など、使いやすさの追求もしています。

営業の概況

都市ガス業界向けガス検知器及び運輸業界向けアルコール検知器の販売が好調に推移し、売上高は26億7百万円(前年同四半期比3.9%増)となりました。

売上高構成比



売上高の推移

(単位:百万円)



マルチ型ガス検知器



酸素・一酸化炭素計



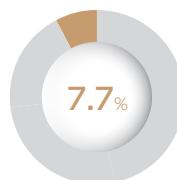
可燃性ガス探知器

その他

事業・商品

さまざまなニオイの強弱の測定、トルエン・キシレンなどの揮発性有機化合物(VOC)の現場での分析、換気扇の運転を自動でコントロールして、冷暖房の効率化で省エネに貢献する「換気扇コントローラ」。どれもガスセンサの応用から生まれました。独自のガスセンサ技術により、日々新しい可能性を追求しています。

売上高構成比



VOCリアルタイムモニタ



換気扇コントローラ



個人ばく露濃度計



ニオイセンサ

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前第2四半期末 2018年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在
資産の部			
流動資産	25,195	25,118	26,243
現金及び預金	11,596	11,409	11,879
受取手形及び売掛金	7,150	7,853	8,309
たな卸資産	6,099	5,504	5,731
その他	421	449	418
貸倒引当金	△ 73	△ 98	△ 94
固定資産	15,442	14,736	15,151
有形固定資産	7,995	7,157	7,880
建物及び構築物	2,547	2,403	2,626
機械装置及び運搬具	882	744	836
土地	3,149	3,149	3,149
建設仮勘定	783	314	692
その他	632	546	575
無形固定資産	1,788	1,932	1,860
投資その他の資産	5,658	5,645	5,410
投資有価証券	3,673	3,746	3,450
繰延税金資産	215	195	200
その他	1,771	1,706	1,762
貸倒引当金	△ 2	△ 2	△ 2
資産合計	40,637	39,854	41,395

科目	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前第2四半期末 2018年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在
負債の部			
流動負債	6,012	6,706	7,247
支払手形及び買掛金	3,404	4,012	4,069
短期借入金	50	150	50
1年内返済予定の長期借入金	330	202	294
未払法人税等	363	493	527
賞与引当金	582	575	514
製品保証引当金	126	129	130
その他	1,154	1,145	1,660
固定負債	3,039	2,638	2,959
長期借入金	1,437	1,152	1,432
退職給付に係る負債	1,078	1,059	1,071
役員退職慰労引当金	110	317	384
その他	412	108	70
負債合計	9,052	9,345	10,207
純資産の部			
株主資本	28,649	27,473	28,337
資本金	1,460	1,460	1,460
資本剰余金	935	933	933
利益剰余金	26,522	25,366	26,230
自己株式	△ 268	△ 285	△ 285
その他の包括利益累計額	1,150	1,348	1,059
その他有価証券評価差額金	1,186	1,259	1,036
為替換算調整勘定	△ 32	69	29
退職給付に係る調整累計額	△ 4	18	△ 6
非支配株主持分	1,785	1,687	1,791
純資産合計	31,585	30,509	31,188
負債純資産合計	40,637	39,854	41,395

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)	前 期
	2019年4月 1日から 2019年9月30日まで	2018年4月 1日から 2018年9月30日まで	2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
売上高	13,561	13,815	28,501
売上原価	7,476	7,719	15,815
売上総利益	6,085	6,095	12,685
販売費及び一般管理費	5,114	4,787	9,978
営業利益	971	1,308	2,707
営業外収益	142	193	262
受取利息及び配当金	46	35	63
持分法による投資利益	31	52	85
その他	65	105	113
営業外費用	39	6	11
経常利益	1,074	1,495	2,958
特別利益	0	1	1
特別損失	0	0	4
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,074	1,496	2,956
法人税等	379	488	978
四半期(当期)純利益	695	1,007	1,977
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	57	157	264
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	637	849	1,713

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)	前 期
	2019年4月 1日から 2019年9月30日まで	2018年4月 1日から 2018年9月30日まで	2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	899	1,654	2,880
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 754	△ 476	△ 1,501
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 363	△ 476	△ 204
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 51	△ 21	△ 48
現金及び現金同等物の 増減額	△ 270	680	1,125
現金及び現金同等物の 期首残高	11,542	10,416	10,416
現金及び現金同等物の 期末残高	11,272	11,097	11,542

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前第2四半期末 2018年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在
資産の部			
流動資産	15,436	15,878	16,408
固定資産	14,818	14,688	14,542
有形固定資産	5,265	5,322	5,288
無形固定資産	168	165	166
投資その他の資産	9,384	9,199	9,087
資産合計	30,254	30,566	30,950
負債の部			
流動負債	4,741	5,479	5,755
固定負債	2,031	2,139	2,022
負債合計	6,773	7,619	7,777
純資産の部			
株主資本	22,296	21,688	22,139
資本金	1,460	1,460	1,460
資本剰余金	936	934	934
利益剰余金	20,168	19,579	20,030
自己株式	△ 268	△ 285	△ 285
評価・換算差額等	1,184	1,258	1,034
その他有価証券評価差額金	1,184	1,258	1,034
純資産合計	23,481	22,946	23,173
負債純資産合計	30,254	30,566	30,950

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	10,024	10,047	20,764
売上原価	6,426	6,497	13,444
売上総利益	3,597	3,550	7,319
販売費及び一般管理費	3,187	3,049	6,297
営業利益	409	500	1,022
営業外収益	263	250	292
営業外費用	13	5	8
経常利益	659	745	1,306
特別損失	0	0	0
税引前四半期(当期)純利益	659	745	1,305
法人税等	175	197	306
四半期(当期)純利益	483	547	998

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

NEW! 1

臨時作業時に無線式で 簡単設置・使用が可能な「仮設型ガス 漏えい監視システム」を発売しました

ガス貯蔵施設や石油化学工場など数多くの施設でガス検知警報器が使われており、常時監視を行なっています。しかし、プラント単位の設備を停止しての点検作業時や保守作業等では、現場の安全管理のために既設検知部以外に臨時でガス検知部を増設する等の対応が取られます。また、既設システムそのものの点検のためシステムを停止する場合は、一時的に別途監視システムを用意する必要がありますが、これら臨時作業用の監視システムの構築には、配線や施工にかかるコストや労力の課題がありました。

この度開発した「仮設型ガス漏えい監視システム」は、持ち運び可能な無線式のガス漏えい監視盤に無線ガス検知部を接続することで、ガス濃度などの情報を無線で送信。信号配線が不要なので設置場所を選ばず、移設も容易で配線コストと設置の手間を削減できます。監視盤1台につき最大10台の無線ガス検知部の登録が可能で、ラインナップは外部電源式「KD-100」と電池電源式「KD-101」の2種類。とくに「KD-101」はリチウム電池内蔵なのでガス検知部への電源配線も不要、イニシャルコストを削減します。監視盤はカラーで見やすい監視画面でガス検知部ごとの状態・濃度が一目で分かる上、タッチパネルでの操作が可能です。

現在、仮設利用に特化した監視システムとして石油化学工場、発電所などを中心に展開しています。



無線ガス検知部
KD-100/KD-101 シリーズ

仮設型ガス漏えい監視盤
VCW-100

NEW! 2

LPガス用として初めて 英語、中国語でも警報をお知らせするLPガ ス用CO警報器「XL-453A」を発売しました

LPガスの不完全燃焼により発生する一酸化炭素(CO)を検知するCO警報器は、2002年の発売以来長きにわたり多くのご家庭でご使用いただけてきました。

この度、デザインを刷新し、新機能を追加したりリニューアル品を開発、販売を開始しました。主な特長として、夜間に電源ランプがまぶしいとのお客様の声を受け、ケース裏側からランプを発光させることで落ち着いた明るさのランプを実現しました。さらに、警報をイラスト表示のランプでお知らせすることで直感的に伝わりやすくなるよう工夫しました。また、LPガス用の警報器としては初めて警報音声を英語、中国語に切替えることが可能になり、より多くの方にお使いいただけるようになりました。



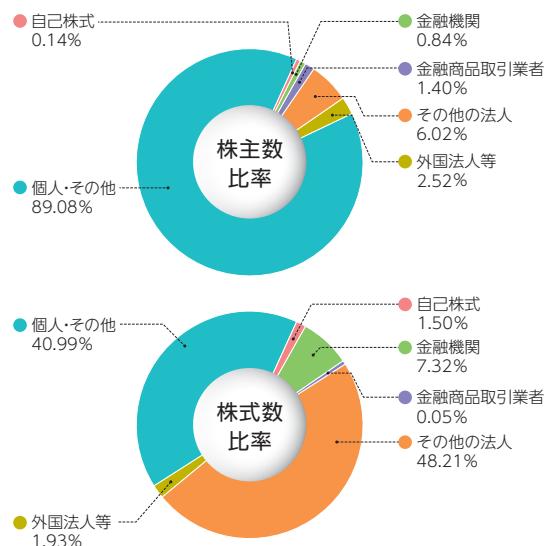
株式の状況

(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 50,000,000株
 発行済株式の総数 12,561,000株
 株主数 714名
 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
岩谷産業株式会社	3,353(千株)	27.11 (%)
有限会社アール・ケイ	572	4.62
新コスモス電機取引先持株会	527	4.26
笠原 美都子	475	3.85
新コスモス電機従業員持株会	472	3.82
大阪瓦斯株式会社	442	3.57
第一生命保険株式会社	385	3.11
齋賀 優子	371	3.00
重盛 徹志	359	2.90
リンナイ株式会社	251	2.03

(注) 1. 持株比率は自己株式(188,777株)を控除して計算しております。
 2. 発行済株式の総数には自己株式(188,777株)を含んでおります。



株価の推移



会社概要

(2019年9月30日現在)

社名	新コスモス電機株式会社
設立	1960年6月15日
資本金	1,460百万円
従業員数	438名
主要商品	<p>家庭用ガス警報器 LPガス警報器／都市ガス警報器／CO警報器／住宅用火災警報器／LPガス集中監視システム 等</p> <p>工業用定置式ガス検知警報器 各種ガス検知警報器／総合ガス保安管理システム／電力線搬送方式ガス漏洩監視システム／シールド工用ガス監視システム 等</p> <p>業務用携帯型ガス検知器 可燃性ガス検知器／毒性ガス検知器／酸素濃度計／複合型ガス検知器 等</p> <p>その他 二オキシセンサ／空気質検知 等</p>

ホームページのご案内



当社に関する情報は、当社ホームページでもご覧いただけます。ぜひ一度アクセスください。

<https://www.new-cosmos.co.jp/>

役員

(2019年9月30日現在)

代表取締役会長	重盛徹志
代表取締役社長	高橋良典
取締役副社長執行役員	松原義幸
取締役常務執行役員	飯森龍
取締役常務執行役員	相川勝之助
取締役上席執行役員	金井隆生
取締役上席執行役員	竹内徹
取締役上席執行役員	池田俊雄
取締役上席執行役員	服部雅夫
取締役	天本太郎
社外取締役	手島肇
常勤監査役	池上久雄
社外監査役	山岸和彦
社外監査役	柳澤有廣

執行役員

(2019年9月30日現在)

執行役員	センサ本部長	中谷幹哉
執行役員	海外事業統括本部 副本部長 兼 海外営業部長	王宏仁
執行役員	インダストリー営業本部 営業開発部長	岩見知明
執行役員	西日本支社長	安本哲也
執行役員	管理本部長代理 兼 経理財務部長	村田泰造
執行役員	生産本部長	竹藤勝隆
執行役員	海外事業統括本部 副本部長 兼 海外事業部長	増田博生
執行役員	技術開発本部 副本部長 兼 第一開発部長	西上佳典
執行役員	リビング営業本部 副本部長 兼 西日本営業部長 兼 西日本支社 副支社長	前川正利
執行役員	リビング営業本部 副本部長 兼 東日本営業部長 兼 東日本支社 副支社長	中村毅

【見通しに関する注意事項】 本報告書に記載している将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

株主メモ

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
公告掲載新聞	日本経済新聞 貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス https://www.new-cosmos.co.jp/ir/earning/

- 【ご注意】** 1. 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

（ご案内）

少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要がございます。

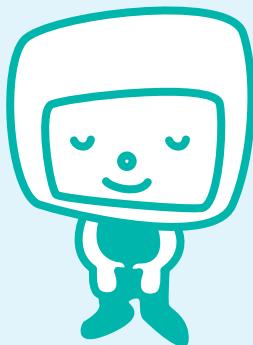
なお、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまは「**株式数比例配分方式**」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。



新コスモス電機株式会社

当社では、株主のみなさまの声を聞かせたいため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



株主のみなさまの声を聞かせください

株主さま向けアンケート

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>



アクセスコード
6824

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信



kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ 「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-6779-9487 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

(1809)



みんなでシェアして、低炭素社会へ。

新コスモス電機株式会社は、Fun to Shareに賛同しています。